



学術講演会「図書館と書物の薫り」（詳細 p.2～）

目次

巻頭言「語り尽くせなかったこと」	1
学術講演会「図書館と書物の薫り」	2
EndNote Basic/SciFinder の講習会を開催	5
ビブリオバトルってご存じですか？	6
新規データベース紹介	7
中央図書館からのお知らせ	8
医学部分館からのお知らせ	9
農学部分館からのお知らせ	10
図書館日誌	11

語り尽くせなかったこと



林 望

十月六日に『図書館と書物の薫り』と題して講演をした折、六十分という講演時間ではあまりにも短く、私として意を尽くさなかったところがあるのは遺憾とせねばならぬ。そこで、少しばかり補足して書いておこう。

単身初めてイギリスに渡ったのは一九八四年の春であったが、それから一年間の間に私は家族に当てて一〇〇通あまりの、それもかなり詳細で長い手紙を書き送った。これを後に一冊の本にまとめ、『イギリスからの手紙』（東京堂出版）と題して世に出したのだが、そこには、まったく未知の異文化イギリスと遭遇して、最初は困惑と不安を抱きながら、やがて次第にさまざまな幸運に恵まれて、自信と展望を獲得してゆく闇雲な努力の過程が如実に書き残されている。

イギリスの図書館は保守的で、なかなか部外者の私に文献目録を作らせてはくれなかったが、粘り強い交渉とファイトによって遂に突破口を開き、ついには『ケンブリッジ大学所蔵和漢古書総合目録』（ケンブリッジ大学出版）を撰述することを得た。そこで、当時の手紙には、

「しかし、僕はあきらめない。自ら信ずるところに向っては、容易にあきらめないで、交渉や術数、誠意と実力を以て、その道を拓いてゆく、ということは、イギリス人の考え方に接して、学んだことです。そのイギリス的思考方で、僕はやるだけのことはやってみようと思います。彼らは、自らの信念を圧するものに対しては、“Fight”するを以て旨としています。“戦うべし”というのです。『長いものにも巻かれぬ』これがイギリス魂であり、大英帝国を築いた所以です」

という意気軒昂な記述が残っている。この自信にたどり着くまでの悪戦苦闘ぶりは、まさにその『イギリスからの手紙』をご一読願うのがもっとも良い。とくにこれから留学を考えている学生諸君には、ぜひとも読んでもらいたいと切望する一冊である。

学術講演会「図書館と書物の薫り」

場所 愛媛大学南加記念ホール

日時 平成 27 年 10 月 6 日（火）14 時～15 時

図書館では、図書館活動の活性化と図書館職員のスキルアップを図ることを目的として、外部有識者による学術講演会を昭和 62 年度から毎年開催しています。第 28 回目となる今回は、清水図書館長と一時期同じ大学で教鞭を執っておられた「リンボウ先生」と作家・国文学者の林望氏を招いて「図書館と書物の薫り」をテーマに講演していただきました。



【スライドは恩師と共に書物の調査に向かう
大学院時代のリンボウ先生】



【美声で語るリンボウ先生】

林氏は、古い書物を研究している日本では数少ない書誌学者の一人ですが、「少年時代は読書家ではなかった」そうです。それが、どうして書物を研究対象にする人生を送ることになったのか。高校生の時に出会った本の話や大学・大学院時代の恩師から厳しくも温



【司会・進行の木藤先生】

かい指導をうけたこと、日本各地の図書館などの様々な古い書物を調査されたエピソードなどを織り交ぜながら、お話しされました。

そして、人知れず眠っている日本の古い書物を追い求め、ヨーロッパの図書館を回られたこと、また、日本と海外の大学図書館の違いや、イギリスに滞在し、長い年月をかけて、ケンブリッジ大学所蔵の和漢古書の目録を一緒に作った仲間の話などを写真と共に紹介されました。

自身の経験に裏打ちされた、「不能率な勉強の中で、自分の頭のメモリーに入れておいたことは、必ず後になっても出てくる。紙の辞書を自分でめくって、何度も何度も同じ語をひいて、そういう作業を積み重ねていく中で本当の教養が身につく」という言葉は、聴講していた附属高校生へのメッセージとなりました。



【清水図書館長】

また、インターネットで何でも簡単に調べることができる時代になりましたが、「目と手と薫り、自分の五感全てを使って不能率に勉強してもらいたい」、「オブジェクト（モノ）としての書物が大切」という言葉は、多くの聴講者の心に深く刻まれました。

リンボウ先生、すばらしい講演をありがとうございました！



【リンボウ先生が色紙に書いてくださった俳句を紹介する
清水図書館長（俳句は著書「しのびねしふ」より）】

↓ 愛媛大学図書館内に所蔵している林望先生の著作です。
↓ 貸出可能ですのでどうぞご利用ください。

※中央図書館及び農学部分館所蔵図書のリストです。共著・訳書を含みます。

研究室所蔵分は除外しています。巻頭言で触れられている図書に*印をつけています。

2F-東 0	002/HA	知性の磨きかた / 林望著. -- PHP研究所, 1996. -- (PHP新書; 003).
2F-東 0	002/HA	教養脳を磨く! / 林望, 茂木健一郎著. -- NTT出版, 2009.
3F-東奥 007	007.3/KI	コンピューターの宇宙誌: きらめく知的探求者たち / 紀田順一郎, 荒俣宏著. -- ジャストシステム, 1992.
2F-東 0	020.4/HA	書誌学の回廊 / 林望著. -- 日本経済新聞社, 1995.
3F-文庫・新書	080/K0/1472	女大学評論; 新女大学 / 福沢諭吉 [著]; 林望監修. -- 講談社, 2001. -- (講談社学術文庫; [1472]).
3F-文庫・新書	080/SY/0039C	往生の物語 / 林望著. -- 集英社, 2000. -- (集英社新書; 0039C).
*書庫5層-洋	029.7/CA	Early Japanese books in Cambridge University Library: a catalogue of the Aston, Satow, and Von Siebold collections / Nozomu Hayashi & Peter Kornicki. -- Cambridge University Press, 1991. -- (University of Cambridge oriental publications 40). (ケンブリッジ大学所蔵和漢古書総合目録)
書庫-和	302.33/DE	イギリスはかしこい / 出口保夫, 林望著. -- PHP研究所, 1997.
2F-東 3	302.33/HA	イギリスは愉快だ / 林望著. -- 平凡社, 1991.
書庫-和	302.33/HA	イギリスは愉快だ / 林望著. -- 平凡社, 1991.
2F-東 3	302.33/HA	イギリス観察辞典 / 林望著. -- 大増補・新編輯. -- 平凡社, 1996. -- (平凡社ライブラリー; 170).
書庫-和	383.8/M0	イギリスPub(パブ)ウォッチング / デズモンド・モリス, ケイト・フォックス著 林望訳. -- 平凡社, 1995.
3F-東奥 5	527/HA	思想する住宅 / 林望著. -- 文芸春秋, 2015. -- (文芸文庫; [は-14-10]).
3F-東奥 5	596.04/HA	イギリスはおいしい / 林望著. -- 平凡社, 1991.
2F-東シラバス和	596.04/HA/1 596.04/HA/2	イギリスはおいしい / 林望著; [1], 2. -- 文芸春秋, 1995. -- (文芸文庫; [は-14-2],[は-14-8]). ※2は「リンボウ先生ディープ・イングランドに行く」(1998年刊)の改題
2F-東シラバス和	816/HA	文章の品格 / 林望著. -- 朝日出版社, 2008.
2F-東 洋8	837.7/HA	England is delicious / 林望著; 清水照代訳. -- 講談社インターナショナル, 2000. -- (Kodansha English library; 168).
3F-西 9	913.36/HA	謹訳源氏物語私抄: 味わいつくす十三の視点 / 林望著. -- 祥伝社, 2014.
3F-西 9	913.369/HA/1~ 913.369/HA/10	謹訳源氏物語 / [紫式部著]; 林望 [訳] 著; 1 - 10. -- 祥伝社, 2010.
3F-西 9	913.434/HA/	謹訳平家物語 / 林望 [訳] 著; 1. -- 祥伝社, 2015.
3F-西 9	913.6/HA	幻の旅 / 林望著. -- マガジンハウス, 1993.
2F-東シラバス和	914.6/HA	インテリジェントトレーニング / 林望著. -- 青春出版社, 2008. -- (青春文庫).
3F-西 9	914.6/HA	ホルムヘッドの謎 / 林望著. -- 文芸春秋, 1992.
3F-西 9	914.6/HA	帰らぬ日遠い昔 / 林望著. -- 講談社, 1992.
3F-西 9	914.6/HA	テーブルの雲 / 林望 [著]. -- 新潮社, 1993.
*3F-西 9	915.6/HA	イギリスからの手紙 / 林望著. -- 東京堂出版, 2014.
農分館:高大連携	151.4/HA	新個人主義のすすめ / 林望著. -- 集英社, 2008. -- (集英社新書; 0427C).



講演会の感想 (アンケートより、原文のまま)

読書は血肉になってこそ、本当にその通りだと思います。記憶しにくい年齢ですが、その時点で感動し自分のためになる本を読みたいと思います。

本とは魂の手本であるとお聞きしました。若い時の読書は、人生のあこがれや 30 以後は救いを求めたものだった自分の読書を思い出しました。

年に 1 回とはいわず、四半期に 1 回くらいずつこうした書物をめぐる講演会を開いてほしい。日本の社会において 4 分の 1 以上が 60 才以上となればとても大きな社会構成員です。今日の大学として社会が育ててきたのでしょうかから社会に還元するのも必要ですよ。早稲田の古本屋の誕生面白かった。お人柄がひしひしと伝わってくる、とても楽しく聴かせていただいた。人が生きていく上の指針なるようなお話でした。東大前の古本屋の話、イギリスの話うかがったところ、最後の方に話されたので感激でした。

人気者の林望先生の学生時代のお話はとても興味深かったです。若いうちに頭のメモリーに様々な知識を入れることの大切さが分かりました。

敷かれたレール上を走って行くのではなく、学んだことを使って開拓していく、そんな先生の生き方がすごいと思いました。僕の夢は古生物学者になることですが、分野は違えども、先生のような学者になります。



平成 27 年 10 月 6 日 18:30 (開場) - 19:00

会場：愛媛大学附属記念ホール (愛媛大学学術図書館 3 階)

講師：林 望



林 望 先生は、1974 年生まれ。愛媛大学文学部国文学専攻卒業。現在、愛媛大学学術図書館で勤務。読書が大好きで、特に古典文学や歴史小説に興味がある。講演では、読書の楽しさや、読書が人生に与える影響について話される予定。



EndNote Basic/SciFinder の講習会を開催

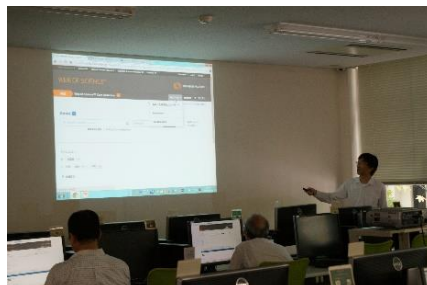
文献管理ソフト「EndNote」及び物質科学系データベース「SciFinder」の講習会を開催しました。

EndNote Basic 講習会

9月29日(火) 中央図書館2F/PCコーナー 14:30～16:00 医学部 総合教育棟2F 組織実習室 18:00～19:30
9月30日(水) 中央図書館2F/PCコーナー 10:00～11:30

EndNote Basic を使えば、論文執筆に必要な文献情報をオンラインで管理し、引用文献リストを簡単に作成できます。最初に学内からユーザー登録すれば、次からは学外からでも Web 上の自分の文献リストにアクセスし、利用・編集ができます。また、愛媛大学で導入している文献データベース Web of Science とは相互にリンクしており、検索結果をダイレクトに保存することが可能です。

講習会では専門の外部講師により、ユーザー登録の方法から始まり、下記のような解説がありました。



中央図書館での講習会



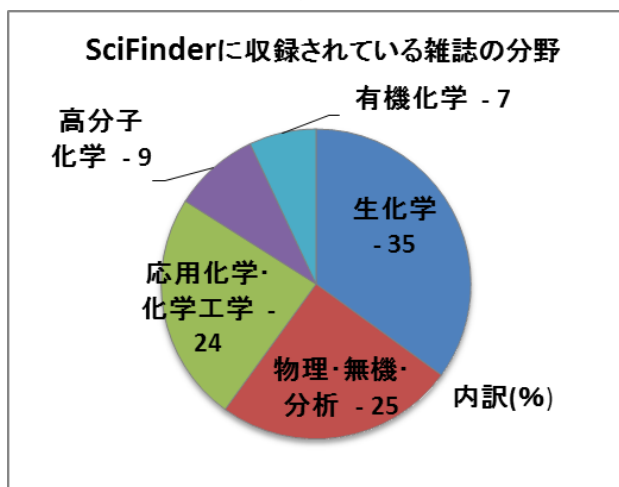
↑ 医学部での講習会

- ◆ Web of Science だけではなく、CiNii や PubMed など様々な文献データベースからの文献情報の取り込み方法と手順
 - ◆ 文献リストのグループ管理
 - ◆ 共同研究時などに便利な文献グループの共有機能
 - ◆ 投稿雑誌に合わせ、3,000 以上のスタイルから選べる参考・引用文献リストの作成機能
 - ◆ 論文の執筆中に自在に参考・引用文献のスタイルの再設定やリスト順の編集が可能なプラグインの紹介
- 解説にあわせ、実際に参加者自身が操作しながらの実践的な講習会でした。

SciFinder 講習会

10月8日(木)メディアセンター 農学部分室 10:20～11:50 中央図書館2F/PCコーナー 14:30～16:00
※10月7日(水) 工学部の授業「応用化学実験Ⅱ」内でも同内容の講習会を実施

SciFinder は物質科学関連分野で世界最大級の文献・物質情報を収録しているデータベースです。文献情報は 1808 年以降の 4,100 万件以上、化学物質情報は 1907 年以降の 1 億 6,400 万件以上、1 億件以上の試薬・化成品のカタログ情報など、圧倒的な収録範囲と件数の情報が提供されています。情報は毎日更新され、古い年代の情報だけではなく、最新の情報までカバーしています。



SciFinder という和有機化学のデータベースとされている方が多いようですが、左の図のように、有機化学だけではなく、広範な分野の文献が収録されています。

講習会では、初歩的なキーワード検索から、SciFinder 特有の強力な機能である構造検索、検索結果の保存・解析方法、等を詳しく解説。

すでに使用していた利用者にはさらに便利な機能や検索テクニックを紹介するなど、データベース提供元の専門講師ならではの、初心者にとっても経験者にとっても有意義な講習会となりました。

※愛媛大学で利用できる他のデータベースなどについても、講習会開催のご希望があれば、検討いたしますので、ぜひお知らせください。図書館職員が担当する、オーダーメイドの情報・資料収集についての講習会も受付しています。ご相談ください。

問い合わせ先 中央図書館サービス企画チーム E-mail : gakujutsu@lib.ehime-u.ac.jp

TEL : 内線 8849, 8848(平日 9:00-12:00, 13:00-17:00)

ビブリオバトルってご存じですか？

ビブリオバトルとは・・・

誰でも(小学生から大人まで)開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。
発表参加者(バトル)が自分が選んだ本の魅力を紹介し合い、最も支持を集めた本を「チャンプ本」として決める”知的書評合戦”なのです。

【ビブリオバトル公式ルール】

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人 5 分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを 2～3 分行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

レジュメや資料は配付しない！
出来るだけライブ感を持って
発表しよう！

本は必ず発表者自身が
選んだものを！

ディスカッションは楽しく！
聴講参加者も積極的に
参加しよう！

11 月 14 日・15 日の愛媛大学学生祭で
LS(Library Supporters)が
ミニビブリオバトルを開催します！

発表時間
は 3 分！

愛媛大学図書
館蔵書の中から
チョイスした本で
発表！

場所は共通講義棟 32 号室です。
聴講者として参加してみませんか？
詳細な開始時間は中央図書館 2F 入口付近
に掲示します。

もっとビブリオバトルの事を知りたくなった方は…下の URL をご参照ください！

・公式HP <http://www.bibliobattle.jp/>

愛媛大学図書館にもビブリオバトルについての本があります。

・ビブリオバトル：本を知り人を知る書評ゲーム

<http://opac2.lib.ehime-u.ac.jp/webopac/BB30249243>

・ビブリオバトルハンドブック

<http://opac2.lib.ehime-u.ac.jp/webopac/BB30244817>



新規データベース紹介

今年の夏に、新しいデータベースを導入しました。ぜひご利用ください。



Primo (ディスカバリーサービス)

http://usaco.hosted.exlibrisgroup.com/primo_library/libweb/action/search.do?vid=ehime

OPAC や電子ジャーナル、書誌データベースなど、様々なリソースを同一のインターフェースで検索できるデータベースです。シンプルな検索ボックスにキーワードを入力するだけで、複数のリソースを一括検索し、結果を一覧で確認することができます。このため、資料種別の違いを意識することなく、一度の検索で簡単に様々な情報を手早く入手できます。検索結果から、所蔵確認、電子ジャーナルの入手、文献複写の申し込みも可能です。

資料種別：記事、雑誌、図書、会議録、学位論文など 26 種別

検索リソース：【学内】OPAC, SFX (電子ジャーナル・電子ブック), IYOKAN (機関リポジトリ)

【学外】CiNii, Web of Science, J-STAGE, 医中誌 Web, NDL-OPAC, PubMed.....etc



愛媛新聞データベース

★学内限定・同時利用人数 1 名まで

<https://www.ehime-np.co.jp/db/ip/login.html>

1992 年 5 月からの愛媛新聞の記事の検索及び紙面の閲覧ができるデータベースです。情報は毎日更新されており、当日の新聞も午後 6 時以降は全て閲覧可能です。【紙面イメージ】は 1992 年 5 月から現在まで、【切り抜きイメージ】は 2011 年 2 月から現在まで閲覧でき、印刷も可能です。著作権法を守ってご利用ください。

使い方はこちら (<https://www.ehime-np.co.jp/pr/db/guide.html>)



★ご自宅から愛媛新聞電子版をご覧になりたい方には、以下をオススメ

愛媛新聞 電子版

<https://www.ehime-np.co.jp/experimentone/NAVih/p>

過去 30 日分の愛媛新聞を学外からも閲覧可能。

ログイン ID/PW: 愛媛大学アカウント ※ID には「@ehime-u.ac.jp」を付加してください



電子ジャーナルのすすめ

電子ジャーナルとは、電子化され、PC 等の端末で閲覧可能な雑誌のことです。

図書館に足を運ばなくても、学内端末から、世界的な科学雑誌『Nature』や、就活生にお勧めの『日経ビジネス』など、様々な電子ジャーナルを手軽に読むことができます。愛媛大学の学生の間にしか利用できないものもあります。どんどんご利用ください。

電子ジャーナル検索はこちらから <http://sfx10.usaco.co.jp/ehime/az>



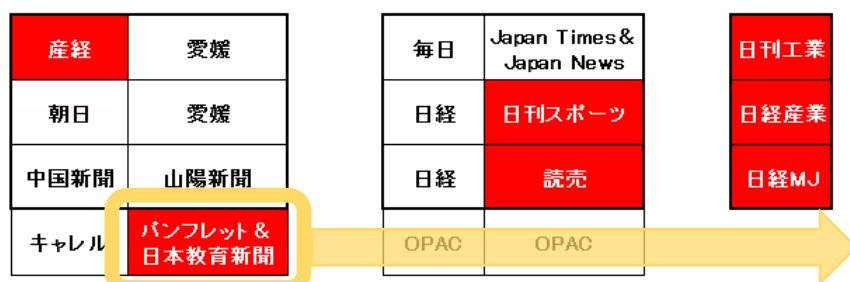
中央図書館からのお知らせ

日本教育新聞の新規購入について

6 月に新聞の利用調査を行った結果、2 部購入する必要があるのは「愛媛新聞」「日本経済新聞」の 2 紙のみと判断しました。朝日新聞を 1 部減らし、要望のあった教育系の専門紙として「日本教育新聞」を 10 月から購入することとなりました。

日本教育新聞は、月 4 回月曜発行の教育専門の全国紙です。幼稚園・保育園から高校、特別支援教育まで教育に関する幅広い分野についての記事が掲載されています。また、教員志望の学生のための紙面として、採用試験の体験記や過去問なども掲載されております。どうぞお役立てください。

また、このため図書館 3 階新聞コーナーの配置について下の地図の通り変更がありますのでお知らせします。



※赤色の箇所を変更しています。

日本教育新聞

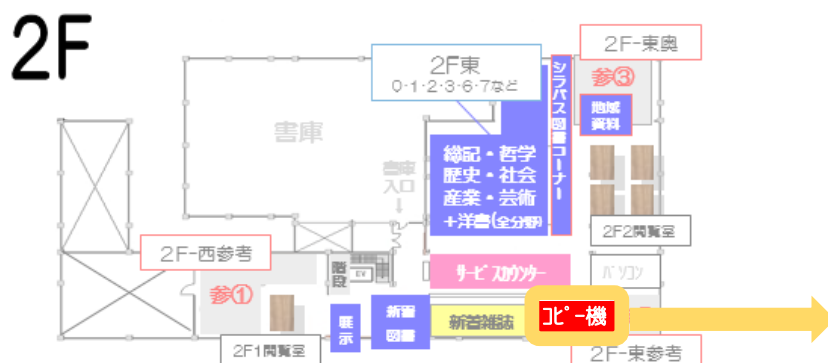


新聞コーナーに専用の席がありません。図書館内にて持ち運んでご利用ください。利用後は元の場所に返すようお願いいたします。

iPa チャージ機の設置について

愛媛大学内の学生食堂、生協ショップ等で利用可能な電子マネー iPa (学内者限定) について、中央図書館 2 階のプリンター・コピー機のコーナーにチャージ機を設置しましたので、ご利用ください。

チャージできるのは 1,000 円札のみですのでご注意ください。



医学部分館からのお知らせ

医学部分館の延長開館について

医学部分館では、2015 年 9 月 1 日から以下の時間帯で無人延長開館を実施しています。
ぜひご利用ください。

平 日 21 : 00 – 22 : 00

日・祝日 10 : 00 – 17 : 00

土曜日は通常どおり開館（9:00-17:00）、年末年始(12/28～1/4)は休館です。

利用対象者：医学部所属の学部学生

入館時に学生証が必要です。

利 用 範 囲：1 階の閲覧室での学習に限ります。

PC ルーム及びグループ学習室は利用できません。

詳細はこちら：<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/IGAKU/contents/encho.html>

秘書さんのための文献入手講座 申込受付中！

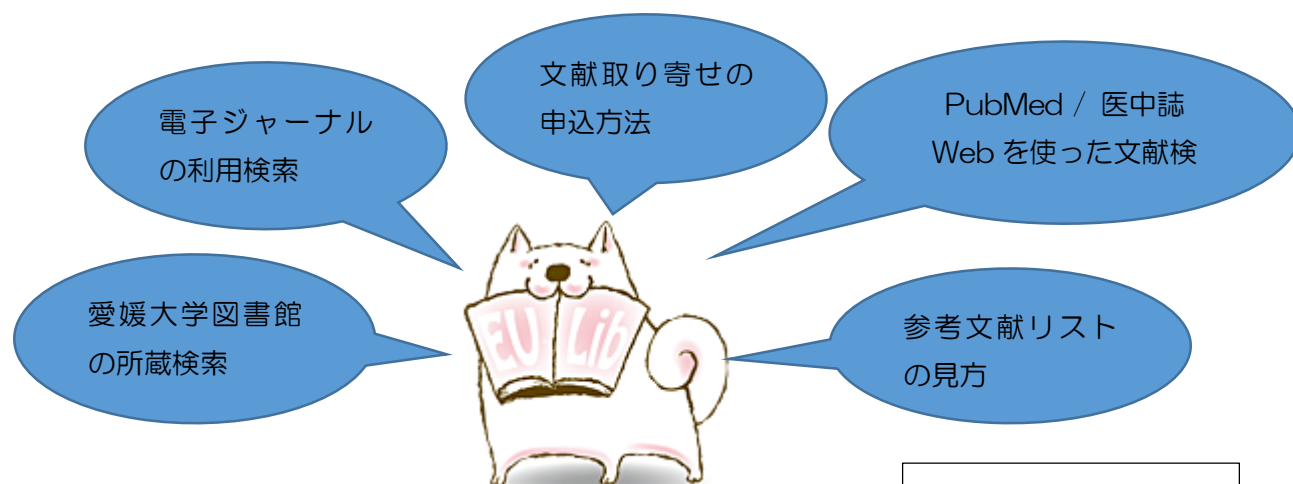
「文献の入手に自信がない」「取り寄せを依頼しても、所蔵があつてよくキャンセルされる」など、日頃のお悩みの解消をサポートします。

対 象：医学部の医局秘書 及び 研究補助者（**初心者向け**，お一人さまから）

所要時間：30 分～1 時間（要相談）

開催場所：各医局または図書館医学部分館

予約方法：図書館 HP の「講習会」[申込フォーム](#)または内線 5482（医）



問い合わせ先

TEL: 089-960-5482

農学部分館からのお知らせ



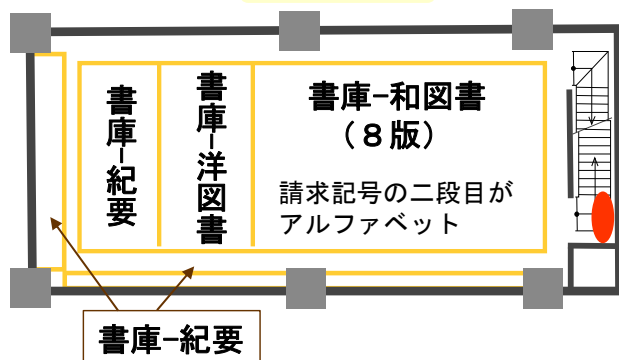
書庫 1・2 層目の配置が換わりました！

書庫 3 層・4 層



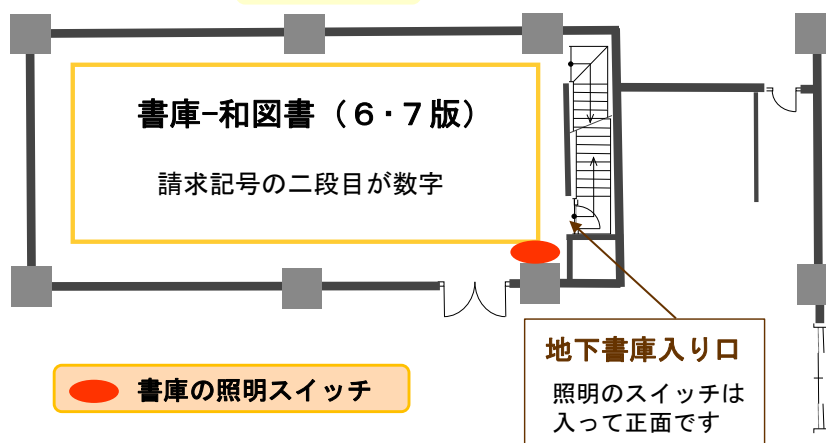
< 断面図 >

書庫 2 層



4 層	図書館 2 F
3 層	
2 層	図書館 1 F
1 層	
地下	

書庫 1 層



● 書庫の照明スイッチ

地下書庫入り口
照明のスイッチは
入って正面です

自動ドア

書庫はどなたでも自由に出入りができます。
どうぞご利用ください。



図書館日誌	
7 月 1 日	愛媛県立医療技術大学と LS(SCV・図書館サポーター)の座談会
8 日	Web of Science 講習会 ～9 日
9 日	館長とLSの座談会
10 日	JUSTICE 電子資料契約実務研修会 (キャンパスプラザ京都)
28 日	ルーラル電子図書館講習会
8 月 3 日	愛媛地区大学図書館協議会総会 (松山大学)
4 日	農学部分館蔵書点検 ～11 日
6 日	愛媛県図書館講習会 (県立図書館)
12 日	医学部分館蔵書点検 ～14 日
17 日	中央図書館蔵書点検 ～31 日
30 日	貴重資料室燻蒸
31 日	インターンシップ研修生受入 ～9 月 4 日
9 月 7 日	目録システム地域講習会(図書コース, 岡山大学) ～9 日
8 日	第 5 回大学図書館学生協働交流シンポジウム (梅光学院大学) ～9 日
29 日	EndNote Basic 講習会 ～30 日
30 日	職場体験受入(鴨川中学校 2 年生 4 名)
10 月 6 日	平成27年度愛媛大学図書館学術講演会
7 日	SciFinder 講習会 ～8 日
8 日	第 56 回中国四国地区大学図書館研究集会 (徳島大学) ～9 日
22 日	人文会 (人文書出版社の業界団体) 見学受入

愛媛大学図書館「図書館だより」第 99 号 2015 年 11 月 1 日発行

編集: 館報編集委員会

発行: 愛媛大学図書館 〒790-8577 松山市文京町 3 番 TEL (089)927-8845
